下呂市青少年育成市民会議
青少年の健全育成を推進

第9回下呂市青少年育成市民会議が星雲会館で開催されました。「少年の主張下呂市大会」や文化やスポーツ、奉仕の各分野で活躍した青少年を表彰する「わかあゆ賞授与式」が行われました。

少年の主張下呂市大会では、市内の中学校から選出された7人の代表生徒がスピーチを行いました。日常生活で感じたことや、海外派遣事業での交流を通じての思いなどを、200人以上の来場者を前に堂々と発表しました。わかあゆ賞では3つの団体と57人に表彰状が贈られました。

審査の結果、最優秀賞に熊崎彩音さん（萩原北中3年）の「出逢えて、良かった」が、優秀賞に渡邉陽菜実さん（竹原中3年）の「地域の伝統文化」が選出されました。お二人は、市の代表として少年の主張岐阜県大会飛騨地区選考会へ推薦されました。

ほか5人の発表者は次の皆さんです。田之本涼太さん（萩原南中3年）▼稗田彩乃さん（下呂中3年）▼二村希さん（馬瀬中2年）▼波多野恵さん（金山中3年）▼小鳥優香里さん（小坂中3年）

【教育委員会・生涯学習課】

最優秀賞に輝いた熊崎彩音さん

下呂市青少年育成顕彰「わかあゆ賞」受賞者

（敬称略）

1号顕彰【学芸・文化】
山下成梧、今井啓太、今井遥、桂川棟路、舩坂百合子、今井祐作、村田愛美、佐々木駿、山口結衣、伊藤奈知、今井希帆、青木梨奈、今井創太、今村日向子、桂川紗英、日下部愛、熊﨑彩音、二村しおり、田口裕太、朝原恵理香、末武鋭也、打越和弥、今井花苗、奥田恭平、今井菜摘、中川秋香、益田清風高校

2号顕彰【スポーツ】
熊﨑苺花、田口大成、二村一郎、佐伯愛斗、市村紅葉、亀山茜、杉山飛雅、伊藤翼、前野涼子、山下夏希、青木良樹、石丸貴詩、中田心、熊崎大和、蓑島晃佑、中川愛望、塚中彩海、伊藤綾香、齋藤暉、今井美彰、清水拓也、小池譲也、斉藤里華

3号顕彰【奉仕】
下呂市ジュニアリーダーズクラブ

4号顕彰【善行】
福井俊貴、岡崎真優、田中涼佳、佐橋青空、安江幸芽、島尻駿、吉田拓実、鈴木友康

以上、3団体と57人の皆さんが受賞されました。おめでとうございました。

下呂市ふるさと寄附金で心のふるさと下呂市を応援してください！

【下呂市を応援する6つのメニュー】
1、「尊い命とくらしを守ります」あんきなふるさと応援事業
2、「ありがとうみんなが幸せ」あったかふるさと応援事業
3、「あふれる笑顔をいつまでも」健やかふるさと応援事業
4、「未来へつなげ下呂のめぐみ」元気なふるさと応援事業
5、「夢へと羽ばたけ」いきいきげろっ子応援事業
6、「自然の恵みとどけます」水のふるさと応援事業

「ふるさと納税」とは・・・
ふるさとを応援したいという思いをかたちにするための納税制度です。自治体へご寄附いただくと、住所地での確定申告手続きにより、一定限度までの個人住民税などが軽減されます。

感謝の気持ちを込めて特産品を贈呈します
下呂市ふるさと寄附へ1万円以上ご寄附いただいた市外の方へ下呂市特産品を贈呈します。
詳しくは市ホームページをご覧ください。

市外のご親戚やお知り合いの方などに、是非ご紹介ください。
ふるさと下呂がいっそう輝きますよう、下呂市のまちづくりを応援していただける皆さまからのご協力をお待ちしています。

【経営管理部・総合政策課
☎24-2222（内線253）】

平成25年度ふるさと寄附金		件数	金額	使い道
1	あんきなふるさと応援事業	8	184,000	災害対策水防備品購入
2	あったかふるさと応援事業	3	478,000	妊婦健康診査助成
3	健やかふるさと応援事業	4	1,132,000	風しんワクチン予防接種助成 休日診療所管理運営費
4	元気なふるさと応援事業	4	392,000	地産地消推進事業
5	いきいきげろっ子応援事業	7	1,174,000	小中学校教育振興費 （学校教材備品）
6	水のふるさと応援事業	5	462,000	里山林種転換事業
合　計		31	3,822,000	

ピックアップトピックス

気になる話題をピックアップして毎回ご紹介します。

1 葬祭業者3社と災害協定

市内で葬儀場などを運営する冠婚葬祭こころの会、JAひだ、フローラの葬祭業者3社と下呂市は、災害時における遺体安置の資材や場所を提供するなどを取り決めた、災害協定を締結しました。下呂市役所で行った締結式で野村市長は「災害時には行政だけで対応できない場合もあるので、皆さまにご協力をよろしくお願いします」と、あいさつしました。

協定書にサインをして記念撮影

2 下呂市防災士会発足

下呂市では、地域防災の強化を目的に、平成24年度から防災士の育成を行っており、現在市内には70名の防災士が誕生しています。この防災士の連携を強化するために、「下呂市防災士会」が発足しました。

下呂市民会館で行った発足記念式典では、福島県浪江町で被災し、現在は下呂市内で働く佐藤慶太さんが講演。「折れない心や助け合う心が大切」と話されました。最後に、初代会長の金子恒紀さん（金山町金山）が「地域の減災と防災力向上に努める」と決意を述べられました。

講演会の様子

3 ペンサコーラ市へ義援金

今年の4月に豪雨災害に見舞われた姉妹都市アメリカペンサコーラ市へ、市民から募った義援金131万円を贈りました。

6月30日、下呂市役所を訪れたアメリカ西フロリダ大学ジャパンセンター長のダグラス・トレルファさんへ市長から目録を手渡しました。ダグラスさんは「下呂市の思いやりで姉妹都市の本当の意味が長年で築かれたことを実感しました」と、ペンサコーラ市長からのメッセージを代読しました。

目録贈呈の様子

4 益田清風高校選手を激励

全国高校総体に出場する益田清風高校の選手の激励会が行われました。

陸上競技の4選手と弓道部の男子が団体戦に出場。弓道部の池上幸次朗君（萩原町萩原）は「インターハイで弓をひくのを目標にしてきたのでとても嬉しい、ベストを尽くします」と抱負を述べました。

健闘を祈って記念撮影

おめでとう（敬称略）

◆平成26年度全国高等学校総合体育大会

（8月1日～20日山梨県・東京都）

▽陸上1500m・細江勇吾（益田清風高校3年）▽陸上1500m、3000m・青木和（同3年）▽陸上走り幅跳び・葛西志乃美（同3年）▽陸上円盤投げ・大森徳幸（同3年）▽弓道団体・小越智就（同2年）▽弓道団体、個人・池上幸次朗（同2年）▽弓道団体・桂川将輝（同2年）▽弓道団体・今井拓巳（同3年）▽弓道団体・奥田和貴（同3年）▽弓道団体・飯塚匠真（同3年）